



インディアン ラソイ の店主さんが選んだ本



お店の情報はこちら

千の風になって（新井 満・著 佐竹 美保・絵）
秋川雅史さんの「千の風になって」の曲のルーツが物語になった絵本です。

にほんのむかしばなし たなばた（岩崎 京子・著 鈴木 まもる・イラスト）
「七夕」牛飼いの若者、彦星、天女の織姫、こども達に伝えていきたい日本昔話ですね。

わすれられないおくりもの（スーザン・バーレイ・著 小川仁央・訳）
モグラは、アナグマが残してくれた、おくりもののお礼が言いたくなりました。「ありがとう。アナグマさん。」

にじいろのさかな（マーカス・フィスター・著 谷川 俊太郎・訳）
にじうおは、つぎからつぎへとうろこをわけた。そしてうろこをあげればあげるほど、うれしくなった。
という文章がいちばんすきなところです。
あげたらうろこは、なくなってしまうのですが、にじうおのころには、おもいやりとかなやさしさがふえたのですね。

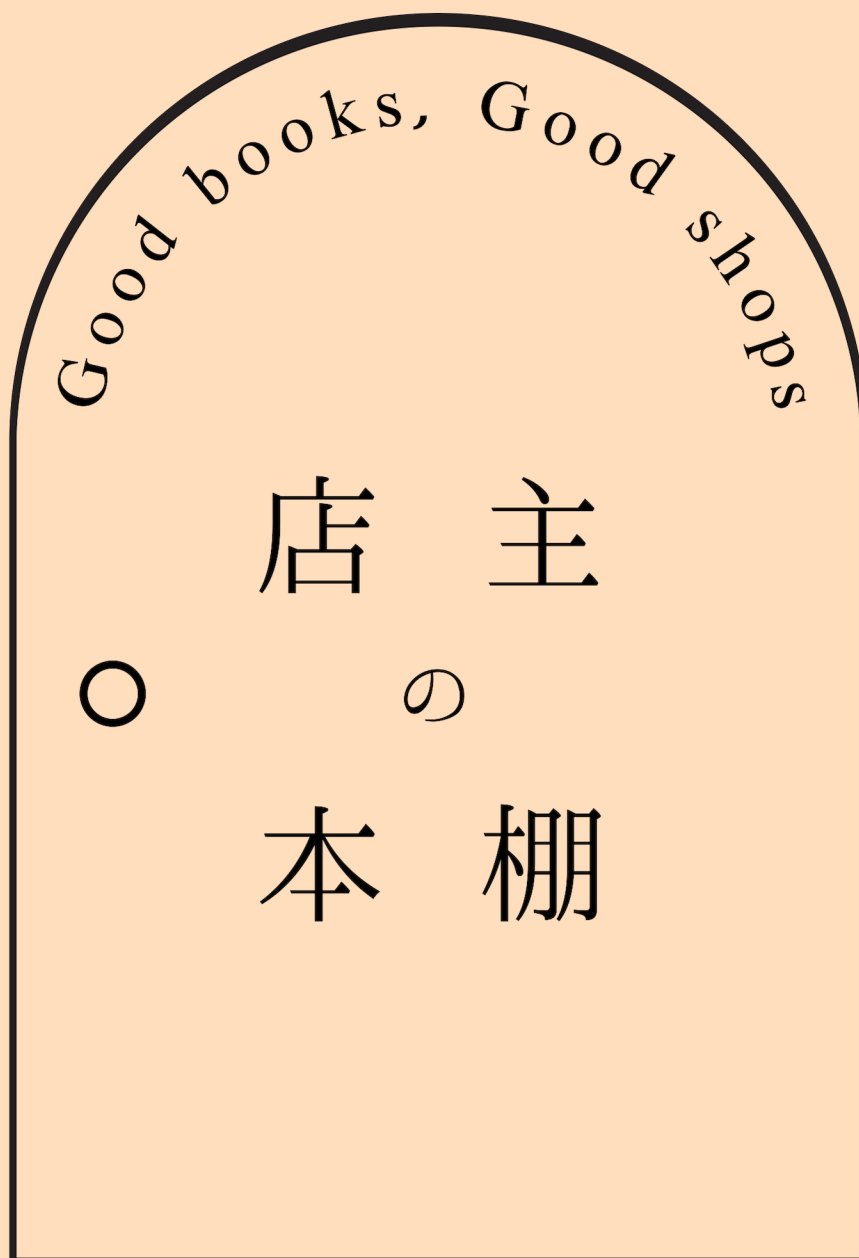
シエラレオネ 5歳まで生きられない子どもたち（山本 敏晴）
シエラレオネには5歳まで生きられない子ども達が大勢います。この国ではダイヤモンドが採れる為、それを狙って他国や国内の反乱軍が戦争を起こし、この国は不幸になってしまいました。
悲惨な戦争について考えさせる書物だと思います。

命はつづいているんだな（たなか あいこ）
優しかったおばあちゃんと美代ちゃんのお話。あたり前の日常から美代ちゃんを感じた事。
「いのちは続いているんだな。」心がほんわりとなる一冊です。

とべないほたる3（関 重信 小沢 昭巳）
「生きているとこわい事がいっぱいあるね。でも生きているから楽しい事もいっぱいあるんだよ。」
とべないほたるや目の見えないほたる達の声が聞こえてきそうな絵本です。

葉っぱのフレディ: いのちの旅（レオ バスカーリア・著 みらい なな・訳）
怖がるフレディにダニエルが「いつかは死ぬさ。でも"いのち"は永遠に生きているのだよ。」と
応えた言葉が生命について考えるきっかけになってくれたら良いなあと思います。

唐招提寺と鑑真和尚物語（田中館 哲彦・著 安土 じょう・イラスト）
度重なる苦勞を重ね、失明をしても唐から日本にきた鑑真和尚が造った唐招提寺です。
この本は漫画も入っていて読みやすいです。



市川市の店主さんが選んだ本をご紹介します



今月の店主

インディアン ラソイ

市川市東菅野1-30-20

※ JR本八幡駅、都営新宿線本八幡駅より徒歩10分程
※ 京成八幡駅より徒歩5分程



お店の情報はこちら